

## 「課題研究」ルーブリック評価(課題発表評価)

この評価基準は、課題研究を行ったあとのポスター発表・プレゼンテーション・論文などの成果発表の評価を行うためのものです。

領域	評価観点	評価尺度					0(N/A)
		5(S)	4(A)	3(B)	2(C)	1(D)	
		求めているレベルを越えて達成している。	求めているレベルを十分に達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成できていないが、幾分の努力が認められる。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。	基準が該当しない。
発表(ポスター発表・プレゼンテーション・論文)	目的と仮説	豊富な先行研究等から研究目的や仮説が論理的に導き出されている。また、目的を探究する意義が高く、具体的な検証が可能である。	研究目的や仮説が、先行研究等を踏まえながら述べられており、それらの設定理由や目的を検証する意義についてよく分かる。	研究目的や仮説は述べられているが、それらの設定理由や検証をするための意義については、より明確にする必要がある。	研究目的や仮説は述べられているが、それらを設定した理由が分からない。または、目的を検証する意義が分からない。	研究目的や仮説が述べられていないか、研究目的として不適切である。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	方法	研究目的に即した、労を惜しまない研究方法が採用されている。また、実行した方法を再現可能な表現がなされている。	目的に沿った研究方法が採用され、適切に表現されている。	研究方法は初歩的なものであるが、研究目的におおむね沿った方法が述べられている。	研究方法は研究目的を達成するために十分とは言えない。	研究方法が述べられていないか、研究方法として不適切である。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	分析と結果	豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされている。また、必要な場合には手の込んだ図、表、グラフ等が作成・配置されている。	必要とされる資料やデータを得て、適切な分析がなされている。また、図、表、グラフ等が用いられている場合、それらが適切に作成・配置されている。	資料やデータの分析は、おおむね適切と言える。また、図、表、グラフ等が用いられている場合、初歩的ながらもおおむね適切に作成されている。	資料やデータが不足していたり、分析が適切さを欠いたりしているところがある。または、図、表、グラフ等が用いられている場合、適切に作成されていない。	資料やデータの調べ方が不適切である。または、必要と思われる図、表、グラフ等が作成されていない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	考察	目的で述べた課題意識に対する考察が、研究結果に基づき発展的に考えられており、今後の研究の展望も示されている。	考察は研究結果に基づいて考えられている。また、目的で述べた課題意識との整合性もある。	研究結果を踏まえた考察としておおむね妥当ではあるが、目的で述べた課題意識との関連はあまり明確ではない。	研究結果に対する考察として飛躍しすぎているか、単なる結果の要約である。または、目的で述べた課題意識との関連がない。	考察が述べられていないか、考察として不適切である。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	表示方法と文体	統一された表示と文体で、専門的用語もふんだんに用いられている。また、文章構成が論理的で説得力に富んでいる。	統一された表示と文体で必要な専門的用語が用いられている。また、文章は論理的に述べられている。	表示と文体の統一感があり、文章の構成もおおむね論理的であるが、専門的用語を用いるなど、より専門的な表現が望まれる。	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成に論理的でないところがある。	文章表現に著しい難があったり、誤字脱字等が多数見られたりする。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	発表の内容	レベルの高い情報が明かな論理に基づいて構成されており、読み手/聞き手が内容を的確に理解することができる。	調査した内容が論理的な構成で述べられており、読み手/聞き手が理解しやすい表現となっている。	定型的な構成でおおむね論理的に述べられているが、若干情報不足の箇所がある。	形式的には定型的な構成をなぞっているが、論理性に難があったり、情報が不足していたりして、読み手/聞き手が内容を理解しにくい。	内容構成が適切に配置されていない。または、提供される情報が不足しており、読み手/聞き手は内容を理解できない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	発表態度	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明している。また、自信に満ちあふれた説得力のあるプレゼンテーションで、聞き手を魅了している。	一部原稿を参照する場面も見られつつも自分の言葉で発表している。また、言葉遣い、声の大きさ、話す速度は適切であり、分かりやすい。	半分程度は原稿を見ながら発表しているが、言葉遣い、声の大きさ、話す速度については、おおむね適切である。	言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切ではなく聞き取りにくい。または、終始原稿を見ながら発表し、自分の言葉で発表できていない。	声が小さく、発表内容が聞き取れない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
	質疑応答	質問者の質問意図を的確に把握し、専門的な質問にも簡潔かつ的確に答えられている。	質問者の質問に対して、研究した内容に基づいた的確な回答ができています。	質問内容を把握して応答できているが、余分な内容が多くなったり情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握できないまま応答しているため、質問と答えが対応していない。	無言やあいまいな答えに終始し、質問に答えられていない。	この項目の評価は、本課題研究には適していない。
チェック項目	(論文)文字数等	<input type="checkbox"/> 指定文字数等が守られている。	<input type="checkbox"/> 指定文字数等が守られていない。	(ポスター発表)紙面の活用	<input type="checkbox"/> 紙面を最大限に活用している。	<input type="checkbox"/> 紙面を最大限に活用していない。	
	提出期限	<input type="checkbox"/> 提出期限と提出方法を守っている。	<input type="checkbox"/> 提出期限と提出方法を守っていない。	引用文献	<input type="checkbox"/> 引用文献が正しく表記されている。	<input type="checkbox"/> 引用文献が正しく表記されていない。	
	提出物	<input type="checkbox"/> 提出すべきものが全て揃っている。	<input type="checkbox"/> 提出すべきものに不足がある。				